

【企画委員会 学園祭報告・お礼】

大瑠璃祭に学友会相談コーナー開設

暦では秋も盛りの平成 22 年 10 月 23 日(土)晴天に恵まれ日差しは未だ炎夏の名残が残るなか、大瑠璃祭と名を改めた京都医療科学大学学園祭が開催されました。また当日は大学のオープンキャンパスも開かれており、学友会は、オープンキャンパスと懇談コーナーの両方に相談コーナーを開設しました。また、バザーに色々な品を持ち寄りました。

参加していただいた理事さんたちは、両会場を行き来し大奮闘でした。オープンキャンパスは 100 名を越える大盛況で、なかには高校一年生参加していたとのこと、現在の進学、就職状況の現われであろうと思います。学友会相談コーナーでの印象は、保護者の真剣な質問、内容に「我が子を想う親の心、此处に在り」と感ぜられ、相談が実ることを願っています。

また学友会記念ホールには、まず現れたのは卒業生達で、地酒を抱えて例年通りの参加、頼もしい限りです。学園祭の賑わいをよそ目に 4 年生は勉学に励んでいるようで、それでも相談コーナーにちょこっと挨拶に顔を見せてくれました。来年は地酒持参で参加してくれることを期待しています。

さて、朝から盛り上がっていた学園祭も、日が傾く頃には会場を校舎の裏山に移し、是もまた恒例のバーベキュー大会が始まりました。学友会の面々も、相談コーナーから引き続き参加しました。相変わらずの大量の焼肉が次々と焼かれては消えていく姿に、若さを感じずには居られません。そして、次々に話しかけてくる学生達に、酔いも加勢したとは言え「社会とは云々、技師たる者は云々、」と話している己には、歳を喰ったなぁと感じずには居られませんでした。

最後になりましたが、馳せ参じてくれた卒業生の諸君、ご多忙にも関わらずご出席いただいた理事の皆様、お世話いただいた大学の皆様、そして学生諸君、皆様のお蔭で盛会に行えたことに感謝し、報告いたします。ありがとうございました。

学園祭バザーにご協力いただきました皆様へ

この度は京都医療科学大学・京都医療技術短期大学の学園祭『大瑠璃祭』でバザーを開催するにあたって、ご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございました。

京都医療科学大学としてバザーを実施するのは初めての試みでしたが、品物がほとんど売りきってしまうほど大盛況で、来ていただいたお客さんからも非常に好評でした。

今回のバザーでの売上金額は、合計 10,880 円となりました。

この売上金は、今後の学校行事の資金の一部として有効に使わせていただきたいと思います。

バザーを通して地域の方々と交流できたのも、皆様のご理解、

企画委員長 宮本 要一(49 回生)



京都医療科学大学 学生自治会



ご協力あつての賜物と学生一同感謝しております。

今年の反省を踏まえ、来年は学園祭が更に発展するよう奮闘する所存です。

来年も引き続き、本学の学園祭へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

以上

*通巻198号 2011年1月10日発行(H22 - No.4)
より

